

【公報種別】特許法第17条の2の規定による補正の掲載

【部門区分】第3部門第1区分

【発行日】平成18年7月6日(2006.7.6)

【公開番号】特開2004-315332(P2004-315332A)

【公開日】平成16年11月11日(2004.11.11)

【年通号数】公開・登録公報2004-044

【出願番号】特願2003-114857(P2003-114857)

【国際特許分類】

C 0 1 B 9/06 (2006.01)

C 0 1 C 1/16 (2006.01)

C 0 1 F 11/20 (2006.01)

【F I】

C 0 1 B 9/06

C 0 1 C 1/16 D

C 0 1 F 11/20

【手続補正書】

【提出日】平成18年5月18日(2006.5.18)

【手続補正1】

【補正対象書類名】明細書

【補正対象項目名】特許請求の範囲

【補正方法】変更

【補正の内容】

【特許請求の範囲】

【請求項1】 無機ヨウ素化合物の結晶を、炭素数が1から4である脂肪族アルコール、炭素数が3から5である脂肪族ケトン、炭素数が2から4である脂肪族ニトリル、式： R^1COOR^2 （式中、 R^1 は、Hまたは CH_3 であり、および R^2 は、 CH_3 または C_2H_5 である）で表わされる脂肪族エステル、炭素数が2から4である脂肪族エーテル及びテトラヒドロフランからなる群より選択される1以上の溶剤で洗浄することを特徴とする無機ヨウ素化合物の製造方法。

【請求項2】 ヨウ化バリウム2水和物の水溶液から当該化合物の結晶を析出し、当該結晶を、炭素数が1から4である脂肪族アルコール、炭素数が3から5である脂肪族ケトン、炭素数が2から4である脂肪族ニトリル、式： R^1COOR^2 （式中、 R^1 は、Hまたは CH_3 であり、および R^2 は、 CH_3 または C_2H_5 である）で表わされる脂肪族エステル、炭素数が2から4である脂肪族エーテル及びテトラヒドロフランからなる群より選択される1以上の溶剤で洗浄することを特徴とするヨウ化バリウム2水和物の製造方法。

【請求項3】 無機ヨウ素化合物は、ヨウ化バリウム、ヨウ化アンモニウム、ヨウ化ナトリウム、ヨウ化カリウム、ヨウ化銅、ヨウ化亜鉛、ヨウ化カルシウム、ヨウ化ユウロピウム、ヨウ素酸カリウム、ヨウ素酸ナトリウム、ヨウ素酸カルシウム、及びこれらの水和物からなる群より選択される少なくとも一種である、請求項1に記載の製造方法。

【請求項4】 該溶剤は、2-プロパノール、1-プロパノール、エタノール、メタノール、アセトン、メチルエチルケトン、アセトニトリル、酢酸メチル、酢酸エチル及びテトラヒドロフランからなる群より選択される1以上の溶剤である、請求項1～3のいずれか1項に記載の製造方法。

【請求項5】 ストロンチウムの含量が10ppm以下であるヨウ化バリウム2水和物。

【請求項6】 洗浄後のヨウ化バリウム2水和物中のストロンチウムの含量が10ppm以下である、請求項2～4のいずれか1項に記載の製造方法。